

OS01-2 金沢大学における男女共同参画の取り組み

○池本 良子^{1,2}, 西脇 ゆり¹

¹金沢大男女共同参画キャリアデザインラボ, ²金沢大理工研究域環境デザイン学系

1. 金沢大学における男女共同参画の取り組みの経緯

金沢大学では、平成 13 年度に男女共同参画推進委員会を設置し、平成 20 年度には男女共同参画キャリアデザインラボラトリーを設置し、女性研究者支援の基盤整備を行った。平成 25 年度には、北陸地域に取り組みを広げるために、Hokuriku Women Researchers' Network (HWRN) を構築し、情報の共有や共同研究の推進などを行ってきた。平成 29 年度には、ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）事業に選定され、HWRN の中で最も連携が進んだ 3 機関（金沢大学、富山県立大学、YKK株式会社）が協力して、産学が連携して、女性研究者、技術者の育成と研究力向上の好循環システムを構築して、北陸地域を牽引していくことを目指している。

2. 具体的な取り組み

- ① 出産、育児、介護に多忙な女性研究者の支援：研究パートナー制度および復帰支援制度、人材バンク、はあざみルーム
- ② 女性研究者の研究力育成：共同研究支援、国際シンポジウム開催支援、インターンシップ支援、スタートアップ支援、研究ワークショップ開催など
- ③ 次世代育成；研究写真展、女子中高生理系選択支援
- ④ 広報：Web サイト運営、シンポジウム開催、W I L 便り配信